

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【事業の内容】

(1) 道路施設管理事業

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
58,163	57,922	55,398		2,524

主な支出内訳

・道路施設管理事業

大船駅東口エスカレーター等監視・清掃等業務委託料	23,436
大船駅東口ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料	3,076
大船駅西口エスカレーター等監視・清掃等業務委託料	17,224
自立型サイン板設置業務委託料	1,260
道路維持業務等委託料	5,612
大船駅東口エスカレーター電気料負担金	732
神奈川県道路利用者会議等負担金	77
道路事故賠償金 7件	771

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門		都整-07 道路施設管理事業				
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	274	道路施設整備維持管理事業				
主管課	道水路管理課		関連課				
分野名	安全で快適な生活が送れるまち						
目標 (目標値)	生活環境や市民ニーズの多様化に伴う迅速かつ的確な対応を目指す						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	55,398千円	56,309千円	57,393千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	55,398千円	56,309千円	57,393千円			
	人員配置数	4.0人	3.0人	3.5人			
	人 件 費	36,083千円	27,551千円	32,917千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	91,481千円	83,860千円	90,310千円			
	市民1人当 りの経費	518円	477円	516円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)道路維持業務委託(伐採、草刈等):年末には、ほぼ予算を消化してしまい、それ以降の伐採要望に対応できない箇所があった。 (2)道路事故賠償金:道路事故賠償の示談締結は、職員が被害者と交渉しているが、交渉が難航するケースが多く、示談締結までに時間を要している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)作業センターと連携し、道路内の倒木処理は、ほとんど作業センターで対応している。 (2)電話対応でなく、自宅や勤務先を訪問し交渉することを基本としている。時間外、休日の対応も行っているが、いずれにしても時間を要する。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)費用のかかる伐採箇所は、次年度以降とした。 (2)保険会社の助言を受け交渉しているが、特に物損の修理は、負担割合が生じるので交渉が難航する。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)強風、大雨等により生じた倒木処理を優先するが、予算を増額し、基本的に要望を受けた順番で対応する。 (2)保険会社が被害者と直接交渉する保険もあり、費用対効果を検討し、業務の見直しを行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	(1)作業センターとの役割分担を調整し、当該事務事業の一部を移管する。(道路維持業務委託の草刈など) (2)被害者との交渉に時間を要しているため、ノウハウを有する保険会社に交渉から委託することも検討する。				
担当課長氏名:		道水路管理課長 稲葉 一男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	(1)関連各課との連携を再確認し、課題案件の処理をスムーズに行うようにする。 (2)被害者の立場になって事務の迅速化を図るための見直しを行う。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		